

町田市議会議員(議長)・良識ある保守主義を目指す

# 吉田つとむ

納税者主権の政治・リニア新幹線



町田市議会

〒194-8520

東京都町田市

森野 2-2-22

☎042-724-2171

2期連続トップ当選

## 小田急多摩線延伸促進協議会総会

相模原市内で開催された、商店街や自治会の代表らが組織する「小田急多摩線延伸促進協議会」の総会に招かれ、挨拶させていただきました。会議には、加山相模原市長をはじめ、関係の首長(およびその代理)、議長などが来賓として参加されていました。

私はその挨拶において、町田市がJR東海にリニア中央新幹線の立坑用用地を売却する案件が議会を賛成多数で可決したことを報告しました。その意味は、JR東海のリニア中央新幹線の建設工事が2027年の開通を目指して順調に進み、今後この地域の中心がその駅が新設される相模原市橋本を起点にするであろうこと、そこを中心の交通ネットワークが作られることになり、小田急多摩線延伸の必要性も高まるだろうという見解を述べました。また、多摩センターまでの多摩都市モノレールの運行黒字化も達成拡大しており、この地域全体の交通ネットワーク化が強まる展望を述べました。あわせて、個人的には町田市は進んでその費用負担を果たすべきだと考えていると言う趣旨を述べました。



## 会議進行は先が見えず

第2定例会の本会議最終日、通常のように議案を次々と電子投票で採決しました。途中で、文書による「動議」(会議次第を変更して、新たな議案を追加して審議することを求めた内容)も提出されましたが、電子投票による採決で否決となりました。その動議提出は議会運営委員会の会議において承認されており、それを踏まえた2回の採決がある旨の説明が事前に行われているので、本会議において、動議による議案提出は認め、その後の議案の可否を決する採決の段取りとなるものと思っていました。しかし、動議自体が否決となり、議員提出議案の提案・採決は「幻」となりました。この様に、町田市議会の会議進行は議長さえ予測不能な本番勝負が特徴であり、進行役を務める議長は一瞬の気も抜けず、緊迫感を持って会議を進行しています。

閉会后、全国市議会議長会議員永年勤続表彰があり、6人の議員が15年表彰を受け、私が一人一人に表彰状を手渡しました。次いで、私が20年表彰を受けたのですが、殿村健一副議長より手渡しを受けました。会派室で本会議を傍聴した研修生・宇都木彩名さんと撮影。



無所属で活動・市議会は保守連合 **市議会議長として、休まず執務中**

HP <http://j-expert.jp/> 動画 <http://jp.youtube.com/yoshidaben>



QRコードで  
メール送信が  
できます

町田市議会議員(議長)・良識ある保守主義を目指す

# 吉田つとむ

市議会議長として、連日活動中



インターン生を募集中



携帯QRコード  
でブログ閲覧

## 研修レポート④-2 宇都木 彩名

私は現在、吉田議員の第 39 期のインターン生として活動をしています。

今回、第 30 期研修生である濱田さんにお会いしました。彼女は私の大学の先輩でもあり、今は横浜に本社がある大手化粧品会社でマーケティングのお仕事をしています。私と濱田さんは同じ英文学科で共通するところがあったため、彼女との会話は自分の将来を見つけるための良い参考資料になりました。濱田さんが就いた職業は政治関連や英語に携わった仕事ではありません。しかし、インターンを通して学んだ社会のことや大学での国際関係についての深い理解、課された課題の遂行など、現在の仕事を行う上で通じるものがあるとおっしゃっていました。大学で経験したことがしっかりと将来に活かしている濱田さんを見て、私も自分の未来に反映するような体験を大学生生活でたくさんしようと思いました。

彼女達のお話は、自分の将来を考える上で為になるものばかりでした。また、受け答えや振る舞いが大人びていて、社会人と大学生という違いを実感しました。



津田塾大 1 年 宇都木彩名(第 39 期生)

## 研修レポート⑤-1 宇都木 彩名

私達は町田市民ホールを訪れ町田市シルバー人材センターの定期総会に出席しました。吉田議員が来賓として舞台上で挨拶をし、私は観客席からその総会を傍聴しました。私は今日、吉田議員が挨拶をする場を初めて拝見しましたが、堂々としたご挨拶や声調は聴く側の注意を引くものがあり、議長としての迫力を感じました。

町田市のシルバー人材センターは、60 歳以上の方を対象に軽易の業務を行う公益法人団体です。現在、60 歳を超えても退職することなく仕事を続ける方々が増えているそうです。そのため、シルバー人材センターに入会を希望する人が減少しています。その事柄を問題点として定期総会で取り上げていました。私は現役世代としての社会貢献への気持ちをご高齢者に強い結果として、このような問題が生じているのだと実感しました。ご高齢者の素晴らしい精神が根底にあるこの問題は、解決への筋道をたてることも難しいのではないのかと感じました。

津田塾大 1 年 宇都木彩名(第 39 期生)作成



★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ この印刷物は、政務活動費を一切使用していません。自前の費用で発行するものです。

Mail : yoshidaben@gmail.com mobile: yoshidaben@docomo.ne.jp (モバイルのみ接続)